

教職員研修に関する調査結果報告

－教諭等を対象とした悉皆の経験年次別研修を中心に－

教 職 研 修 課

1 調査目的

当教育センターで実施しているフレッシュ研修（初任校研修）、ステップアップ研修（5年経験者研修）、パワーアップ研修（10年経験者研修）、新任校長・教頭研修、経験者教頭研修等の内容の充実・改善を図る。

2 調査内容

- (1) 現在の立場で、それぞれの時期の悉皆研修において特に充実させたい研修の内容
- (2) 現在の立場で、今後深めたい研修の内容
- (3) その他

3 調査期間

平成23年1月17日～2月25日

4 調査対象

- (1) 小・中学校，高等学校，特別支援学校（公立）
 - ア 校長，教頭
 - イ 教諭，養護教諭，栄養教諭（15年目，20年目，25年目，30年目，35年目）
- (2) 幼稚園，認定こども園（公立，私立）
 - ア 園長，副園長
 - イ 教諭（主任・主幹教諭，20年目，30年目）

5 回答数

総計 3,619

- (1) 小・中学校，高等学校，特別支援学校（公立）

職名	校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	計
回答数	809	879	1,454	136	30	3,308

- (2) 幼稚園，認定こども園（公立，私立）

職名	園長	副園長	教諭	計
回答数	128	77	106	311

6 分析について

- (1) 一部順位法による回答については、最も重要であるとする選択肢を3倍し、2番目に重要とする選択肢を2倍、3番目に重要とする選択肢は1倍とし、ポイント化することで、重要度を反映させる。
- (2) 選択回答の単一回答については、単純集計で行う。

7 調査結果及び分析と改善例

(1) 教諭〔小学校，中学校，高等学校，特別支援学校〕について

ア 調査結果

※ 図1～4中の は、フレッシュ研修の時期に、 は、ステップアップ研修の時期に、 は、パワーアップ研修の時期に充実させたい上位の研修内容を示す。

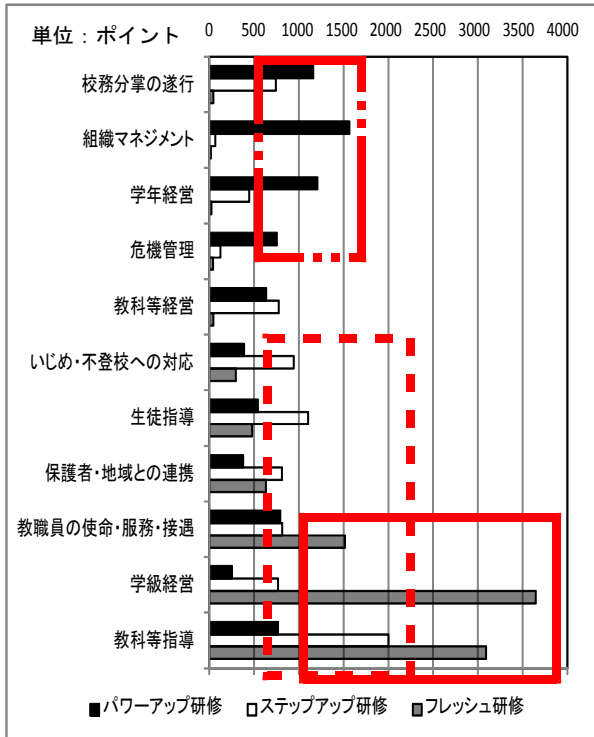


図1 各時期で充実させたい研修（小学校）

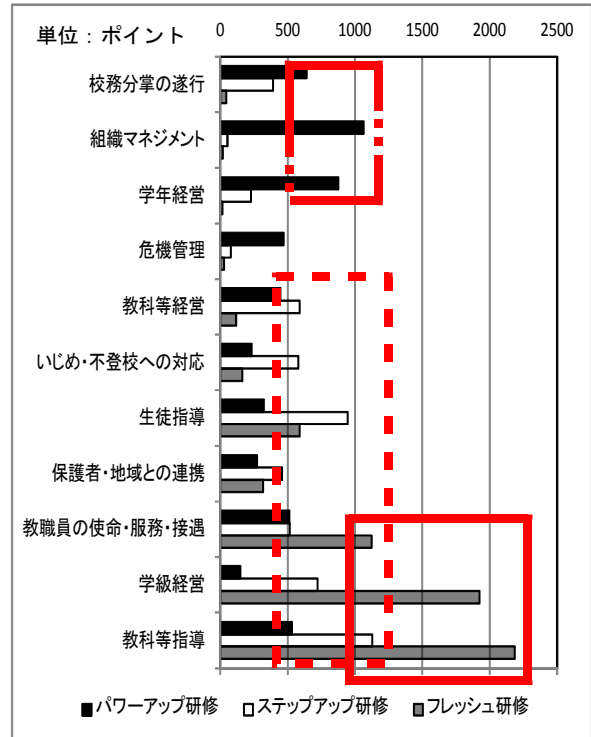


図2 各時期で充実させたい研修（中学校）

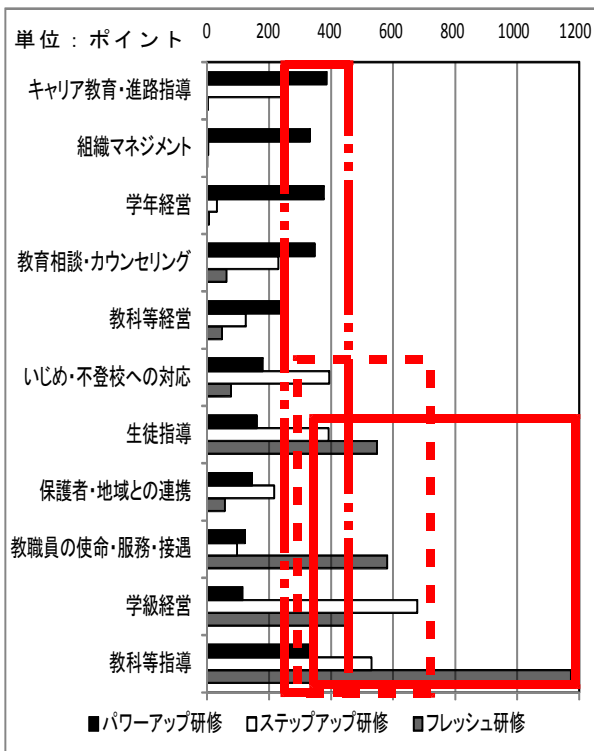


図3 各時期で充実させたい研修（高等学校）

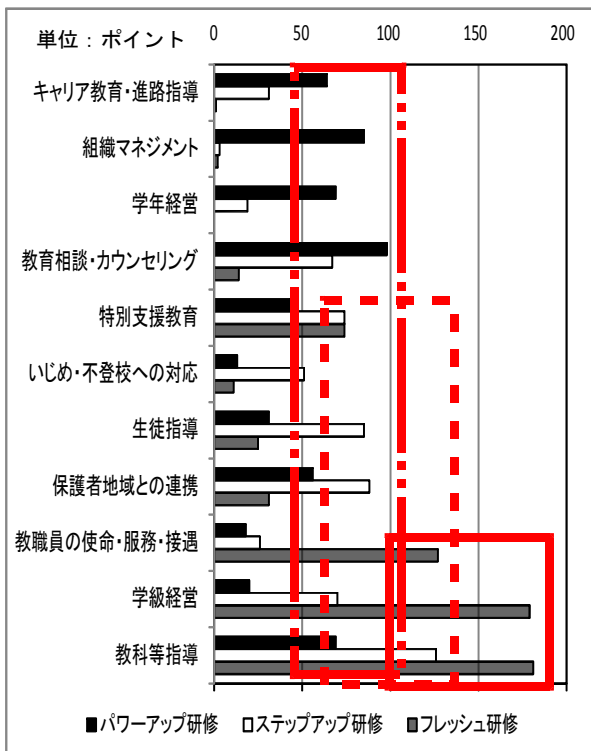


図4 各時期で充実させたい研修（特別支援学校）

イ 分析

※ 表1, 2の , , は、それぞれ研修内容が対応している。

表1 各時期で充実させたい研修内容

	フレッシュ研修	⇒ ステップアップ研修	⇒ パワーアップ研修
小学校	学級経営 教科等指導 教職員の使命・サービス・接遇	教科等指導 生徒指導 いじめ・不登校への対応 保護者・地域との連携	組織マネジメント 校務分掌の遂行 学年経営
中学校	教科等指導 学級経営 教職員の使命・サービス・接遇	教科等指導 生徒指導 教科等経営 いじめ・不登校への対応	組織マネジメント 学年経営 校務分掌の遂行 教科等指導
高等学校	教科等指導 教職員の使命・サービス・接遇 生徒指導 学級経営	学級経営 教科等指導 生徒指導 いじめ・不登校への対応	キャリア教育・進路指導 学年経営 組織マネジメント 教科等指導
特別支援学校	教科等指導 学級経営 教職員の使命・サービス・接遇 特別支援教育	教科等指導 保護者・地域との連携 生徒指導 特別支援教育	教育相談・カウンセリング 組織マネジメント 学年経営 教科等指導

※ 表中のゴシックは、各時期において、4校種中3校種以上共通した研修の内容

表2 平成23年度に実施した悉皆研修の内容

フレッシュ研修	ステップアップ研修	パワーアップ研修
1年目研修 校内研修 (170時間) 校外研修 (20日) うち研究授業研修 (3日)	校内研修 (3日) ○小・中・高 研究授業研修 (2日) 事例等研修 (1日)	校内研修 (17日) 研究授業研修 (6日) 課題研修 I (3日) 個人テーマ研究 (8日)
2年目研修 校内研修 研究授業研修 (5時間) 課題研修 (5日) 校外研修 人権教育研修 (1日)	○特別支援学校 研究授業研修 (1日) 事例等研修 (2日) 校外研修 (1日) 本県教育の重点 教職員のサービス 特別支援教育	校外研修 (15日) 共通研修 (2日) 講座選択研修 (3日) 課題研修 II (5日) 地域貢献体験研修・他校 種研修 (5日)
3年目研修 校内研修 研究授業研修 (5時間)	人権教育 生徒指導 教科等指導	

表1, 2から、本県の教諭対象の悉皆研修は、概ねニーズ (調査結果) を反映した内容となっていると言える。

ウ 改善事例

調査結果でニーズの高いフレッシュ研修における研究授業研修及びパワーアップ研修における「学校組織マネジメント」の事例について述べる。

(ア) フレッシュ研修の「研究授業研修における授業研究」の改善例

高等学校・特別支援学校の1年目研修においては、6月と11月に研究授業研修を実施している。

平成22年度から、6月は通常の授業研究、11月はワークショップ型の授業研究を行うように改善し、授業研究の手法についても多様化を図り、資質向上に寄与するようにした。

〔初任者の感想〕

- 付箋を活用したワークショップ型の授業研究は、様々な意見が飛び交い、新たな視点を獲得することができ、有意義な時間となった。
- クラスの生徒にも授業等で活用したい。
- ワークショップ型の授業研究は、多くの意見を確認することができ、また、記録にも残りやすく、とてもよい方法だと思った。
- 短時間で多くの意見を出し合うことができた。また、他者が出した意見に対しての賛同であったり、異なる視点からの考えを出したりすることで、ひとつの意見(事物)を様々な面から見つめ考えることができた。話し合いが活発化するよい方法である。

(イ) パワーアップ研修の「学校組織マネジメント」の改善例

現在、パワーアップ研修では、校外研修の共通研修において「学校組織マネジメント」の講義・演習を実施しており、表3のように成果・課題を検討して、実施内容の改善を図っている。

表3 パワーアップ研修における「学校組織マネジメント」の講義・演習の改善例

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(案)
講義	講義(60分) 学校組織マネジメントの定義と概要	講義(50分) 学校組織マネジメントの定義と概要	講義(50分) 学校組織マネジメントの定義と概要
演習	演習(120分) 仮想の学校における「ミッシェンの探索」→「SWOT分析」→「重点課題の設定」を実施	演習(130分) グループごとに重点課題を設定し、ロジカルシンキングを用いてその解決策を検討	演習(180分) ロジカルシンキングを用いた重点課題の解決策について多面的・多角的に検討
主な改善策	「仮想の学校では切実感がない」、「マネジメントの手法の追体験を行うには時間不足」等の反省を基に改善	重点課題をグループで設定し、論理的思考による解決策の検討を行うロジカルシンキングの導入による思考法の提案	平成23年度の成果・課題を踏まえ、講義と演習のより深いつながりと演習時間の確保をめざす改善案の作成

[研修者の感想]

- 「学校組織マネジメント」で教わった手法は、自分たちはもちろん、生徒たちにもクラスや部活において、役立てられそうだ。
- ロジカルシンキングという初めての手法を学び、一つの課題をロジックツリーで分析していくことの有効性を認識できた。
- 課題解決に向けた新たな手法を学ぶことができたので、学級経営、教科・学年経営の中で活用していきたい。
- 論理的思考による演習を行ったことで自分自身が活用しようと思うとともに、子どもたちにも論理的思考力を育む視点をもたせることができそうだ。

(2) 養護教諭，栄養教諭〔小学校，中学校，高等学校，特別支援学校〕について

ア 調査結果

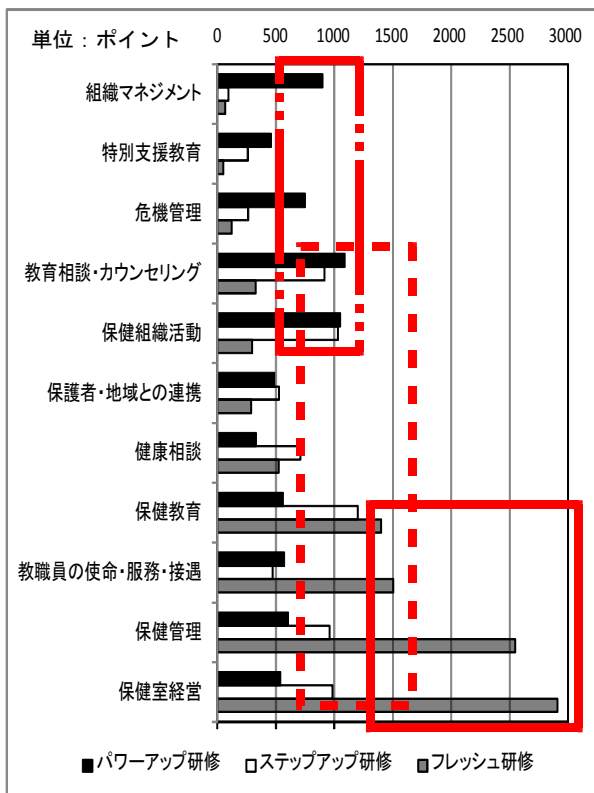


図5 各時期で充実させたい研修（養護教諭）

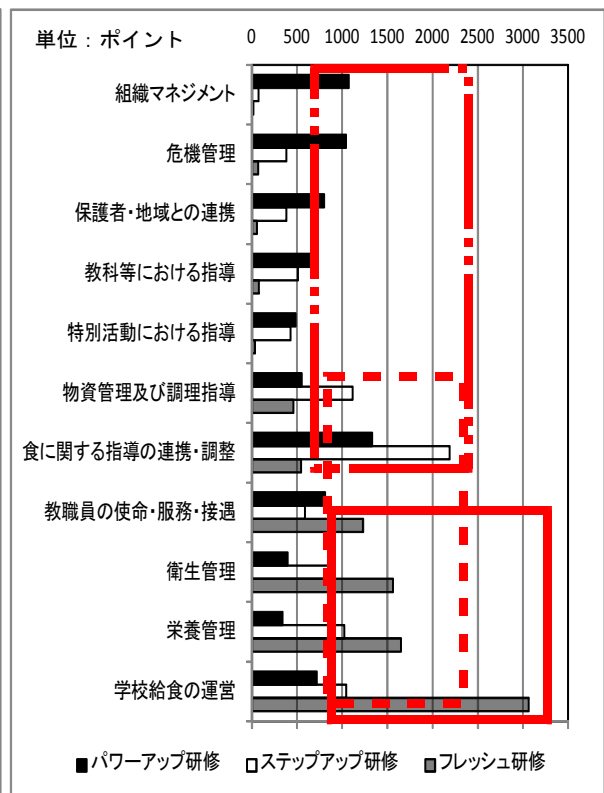


図6 各時期で充実させたい研修（栄養教諭）

イ 分析

※ 表4, 5の□は、それぞれ研修内容が対応している。

表4 各時期で充実させたい研修内容

	フレッシュ研修	⇒ ステップアップ研修	⇒ パワーアップ研修
養護教諭	保健室経営 保健管理 教職員の使命・サービス・接遇 保健教育	保健教育 保健組織活動 保健室経営 保健管理	教育相談・カウンセリング 保健組織活動 組織マネジメント 危機管理
栄養教諭	学校給食の運営 栄養管理 衛生管理 教職員の使命・サービス・接遇	食に関する指導の連携・調整 物資管理及び調理指導 学校給食の運営 栄養管理	食に関する指導の連携・調整 組織マネジメント 危機管理

表5 平成23年度に実施した悉皆研修の内容

	フレッシュ研修	ステップアップ研修	パワーアップ研修
養護教諭	校内研修 (15日) 保健室経営 保健教育 校外研修 (12日) うち保健学習の指導案作成 及び評価等 (1日)	校外研修 (3日) 養護教諭の職務 保健指導・保健学習 ヘルスカウンセリング 心肺蘇生法 上記以外は教諭と同内容	校内研修 (5日) 個人テーマ研究 研究授業研修 校外研修 (10日) 共通研修 (2日) 講座選択研修 (1日) 専門研修Ⅰ (2日) 専門研修Ⅱ (3日) 専門研修Ⅲ (2日)
栄養教諭	校内研修 (15日) 学校給食の管理 食に関する指導 校外研修 (12日) うち学習指導案作成及び評価等 (1日)	校外研修 (3日) 栄養教諭の職務 食に関する指導 ヘルスカウンセリング 学校給食の管理 上記以外は教諭と同内容 ※H23は対象者なし	校内研修 (5日) 個人テーマ研究 研究授業研修 校外研修 (10日) 共通研修 (2日) 講座選択研修 (3日) 専門研修Ⅰ (3日) 専門研修Ⅱ (2日)

ここでは、表4中の養護教諭における「保健教育」、栄養教諭における「食に関する指導の連携・調整」について、表5と対応させると、「保健教育」や「食に関する指導」を進めるた

めの学習指導案の作成や評価等の実践的な研修が、実際の研修に組み込まれていることが分かる。

このことは、学習指導要領の総則において、食育その他の心身の健康の保持増進に関する指導に、専門性を有する養護教諭や栄養教諭の積極的な参画・協力が求められていることとも対応しており、有効性が高いと言える。

ウ 改善事例

養護教諭のフレッシュ研修、パワーアップ研修の改善例について述べる。

表6 養護教諭のフレッシュ研修、パワーアップ研修における改善例

平成22年度	平成23年度
○ 対象者のみの研修	○ 一部の講義を自由聴講可に変更 ・ 養護教諭の研修機会を確保し、資質向上に努める。(旅費は学校旅費)

〔自由聴講者の感想〕

○ 医師による専門的な講義を初めて受けることができ、有意義な研修であった。
○ 最新の情報を得ることができた。学校に持ち帰って活用したい。

(3) 幼稚園教諭について

ア 調査結果

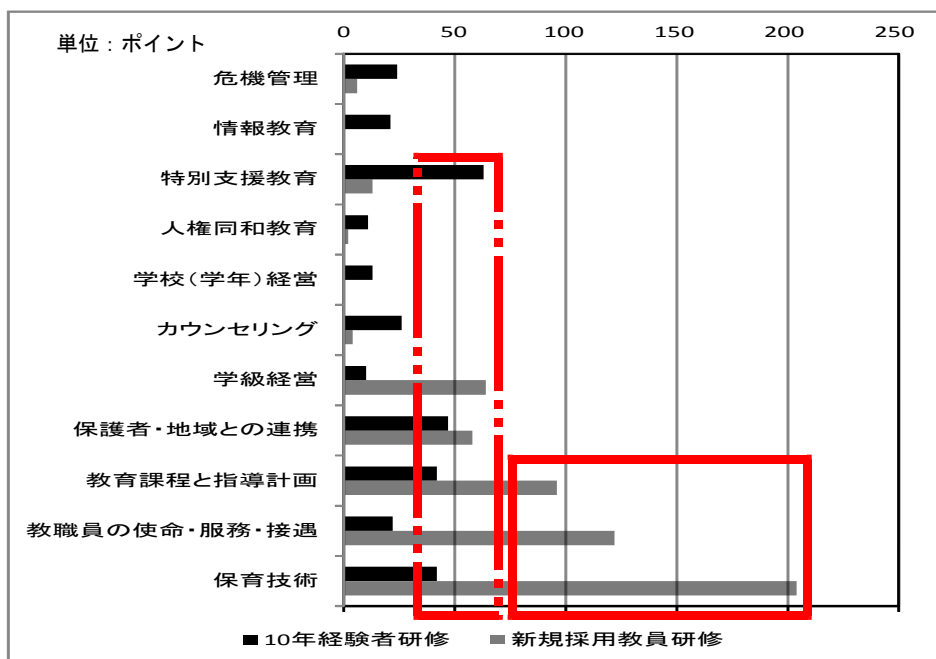


図7 各時期で充実させたい研修

イ 分析

表7 各時期で充実させたい研修内容

新規採用教員研修	➡	10年経験者研修
保育技術 教職員の使命・サービス・接遇 教育課程と指導計画		特別支援教育 保護者・地域との連携 教育課程と指導計画 保育技術

表8 平成23年度に実施した悉皆研修の内容

新規採用教員研修	10年経験者研修
園内研修（10日） 基礎的素養，学級経営 教育課程，幼児理解・評価 園外研修（10日） うち特別支援教育に関する講義等あり	園内研修（8日） 研究保育研修（4日） 課題研修（4日） 園外研修（7日） 共通研修（1日） 選択研修（3日） 保育専門研修（3日）

表7，8から，意図的・計画的に研修が構築され，特に「特別支援教育」に関する内容については，講義及び研究討議が既に設定されており，ニーズに応じていると言える。

ウ 改善事例

ここでは，新規採用教員研修における園内研修と園外研修の改善について述べる。

表9 新規採用教員研修における園内・園外研修の改善例

年度	平成23年度まで	平成24年度以降
研修内容	園内研修（10日） 「指導の実際（実習）～幼児とのかかわり～」を1日設定 研究保育の回数設定なし 園外研修（10日） うち宿泊研修（3泊4日）	園内研修（11日） 「指導の実際（研究保育）～幼児とのかかわり～」を2日設定 ・ 1回目（1日）を7月までに実施 ・ 2回目（1日）を2・3学期に実施 研究保育の年2回以上実施を「幼稚園新任教員の皆さんへ」に明記 園外研修（9日） うち宿泊研修（2泊3日）
主な改善策	園内研修と園外研修をリンクさせることによる研修の一層の充実，夏季休業中の研修に参加しやすい体制づくり	➡ 宿泊研修を内容は維持しながら3日に短縮（4日目の半日実施を削除，初日の開催時刻の調整），研究保育の実施時期を明示し，1回目の課題を宿泊研修の講義等で検討し，2回目へつなぐシステムの構築

8 本調査を通しての成果と今後の課題

【成果】

- 教諭等の経験年次別研修の時期に充実させたい研修の内容と、現在実施している研修内容には概ね整合性がある。
- 現在実施している経験年次別研修の改善については、現在の内容を充実・発展させていくという今後の改善の方向性を得た。

【今後の課題】

- 今回の調査結果を、更に多様な視点で分析し、今後の研修に生かす。
- 経験年次別研修及び職務別研修受講後の、受講者の変容の把握などの研修効果についての検討を行う。